

Wish

世界の子どものために

vol.56

2018年9月号



神戸まつりのおまつりパレードに参加しました。

CONTENTS

EVENT FOCUS

- 2-3 楽しく参加 神戸まつりおまつりパレード
- 4-5 楽しく学ぶ ユニセフセミナー「水の教室」

6-7 活動ファイル
2018年4月～8月

8 お知らせ



1

EVENT FOCUS

楽しく参加

神戸まつり おまつりパレード

兵庫県ユニセフ協会の
キャラクター「くーまん」
です。

3年ぶりのパレードへの参加が決まってから約2か月間、持ち物や隊列の組み方などの検討・準備を重ね、迎えた当日。集合場所では参加者総出で、たくさんさんの風船を膨らませてのぼりや横断幕につけ、行進の段取りの最終確認をしてパレードの始まりにそなえました。

兵庫県ユニセフ協会では

「できる人が できる時に できることを」をモットーに

楽しむ気持ちを大切にして活動しています。

この春には第48回神戸まつりのおまつりパレードに参加しました。

澄みわたった五月の青空の下

陽気なピエロやキャラクターとともにみんなが楽しく行進し

ユニセフ活動の紹介と平和へのメッセージを皆さんに届けました。



ピエロとタッチ



パレード前の準備風景



折り鶴で平和をアピール



ボーイスカウトは手作りマラカスを持って行進



最後に全員集合!



パレード初体験の小さい子どもたち



参加者は、ユニセフボランティア、ボーイスカウト、コープこうべ職員の皆さん、小さい子どもを連れられたお母さんたちなど総勢100人を超えるバラエティに富んだメンバーでした。

今回の行進中に特にアピールしたのは、戦争や争いのない世界の実現です。子どもたちの笑顔は平和があつてこそ。古代オリンピックの時代には大会を平和に開催するために期間中の争いを止めていました。それにちなんで兵庫県ユニセフ協会では、平和の象徴である折り鶴を5色の大きな紙で折り、それを掲げながら2020年の東京オリンピック・パラリンピック期間中の休戦を呼びかけました。

パレード中は沿道の人たちとハイタッチをしたり手を振り合ったりして、多くのあたたかい声援を感じることができました。

Event Data イベントデータ

日時 2018年5月20日(日)
会場 フラワーロード～三宮中央通り
(神戸市中央区)
参加者 101人

ハス田からくんできた泥水を
ろ過する子どもたち

聞いて
なく、
です。
ききも



相談ヶ辻の家 ▼



兵庫県ユニセフ協会は、夏休み子どもたちが楽しく学べる

ユニセフセミナーを開催しました。

今年のテーマは

「調べてみよう・体験してみよう・実験してみよう 水の教室」

インターン生や学生ボランティアらがリーダーになり

グループで学ぶ体験型学習です。

会場は、都市近郊で誰もが気軽に里山を体験できる

あいな里山公園そうだ つじ相談ヶ辻。

水運びや手押しポンプの体験、ろ過実験を通して

きれいな水が手に入らない所で暮らす

世界の子どもたちのことを一緒に考えました。

水の教室

ユニセフセミナー

2

EVENT FOCUS

楽しく学ぶ

Event Data イベントデータ

日時 2018年8月5日(日)
会場 国営明石海峡公園神戸地区
あいな里山公園(神戸市北区)
参加者 24人(小学1年生~中学1年生)
共催 あいな里山公園、兵庫県ユニセフ協会



うわあ。
水が出た!

**体験してみよう!
手押しポンプ**

手押しポンプを初めて目にする子どももいて、出てくる水を不思議そうに見ていました。



調べてみよう!水のこと

地球の水のほとんどは海の水。地球の水を1ℓの水にと比べると、私たちが使える水って、目薬1滴にも満たないのです。



里山の池の水は汚い水でも生きものを育む水。ここにはいろんな生き物がいるよ!

あいな里山公園園長 高畑正さん

高畑さんはものしり博士、とりわけ昆虫!子どもたちは高畑さんの話に興味津々。楽しそうに聞きっていました。



大学生のお兄ちゃんに手伝ってもらったよ!

**体験してみよう!
水くみ**

大きなハスの葉に覆われたハス田。くんだ泥水を水がめやバケツに移しました。

当日の様子をのぞいてみよう!

重たくて指が痛くなってきたよ。これで何時間も歩くの?



体験してみよう!水がめで水運び

めざすは相談ヶ辻の家。水場が近くにない地域では時間をかけて何度も水くみに出かけなくてはなりません。



あっ、きれいになってる!

実験してみよう!ろ過実験

ペットボトルに綿、砂利、炭、枯葉などを詰めてろ過装置は完成。そこへ泥水を流していきます。さあ、きれいになったかな?



まとめてみよう!

わかったこと、感じたことを忘れないうちに書きとめました。これで、夏休みの宿題もバッチリ!?

夏休みは他にも学べるお楽しみがいっぱい!

7/28 夏まつり住吉キッズ
コープこうべ生活文化センター



ジャンボすごろくコーナーで、世界の子どものことやユニセフの仕事について知ってもらいました。

7/21 メダカの学校
西宮市環境学習サポートセンター



「ユニセフの仕事は何?」というクイズで子どもたちは頭をひねりました。

8/23 8/24 ミニミニ水族館
生きものふれあいフェスタ



西宮市環境学習サポートセンター たくさん子どもたちが卓上すごろくや折り紙を楽しみました。

1

ユニセフ写真展 アグネス大使 シリア周辺国訪問 シリア難民の子どもたちを 「失われた世代」にしないために

期 間 6月28日(木)～7月6日(金)
会 場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)



シリア難民の子どもを受け入れているレバノンの公立小学校では、午前中はレバノン人、午後はシリア人の生徒が授業を受けている。

支援を必要としているシリアの子どもたちは、二度と来ない「子ども時代」を奪われています。一方、難民を受け入れているヨルダン、レバノン、トルコなどの周辺国も大きな苦境に立たされています。写真展では「失われた世代」を作らないための周辺国でのさまざまな取り組みが紹介されました。

2

福島の子ども保養プロジェクト in よしまキャンプ

日 時 7月27日(金)～31日(火)
場 所 神戸 YMCA 余島野外活動センター(香川県小豆島)
共 催 コープこうべ、神戸 YMCA、兵庫県ユニセフ協会

2012年から福島県の小学生を招待してキャンプを行っています。今年は28人の子どもたちに、よしまキャンプの経験がある17人中・高校生がリーダーとして加わりました。台風12号の影響で起こったハプニングを通して仲間意識が高まり、他のキャンパーとの交流は子どもたちを一回り大きくしました。大自然の中で過ごした5日間は、楽しい思い出になりました。

3

川崎塾

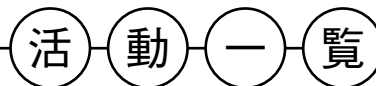
「核兵器のない世界をつくるには～『核兵器禁止条約』についてもっと知る～」をテーマに、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)国際運営委員の川崎^{あきら}哲さんをはじめ第一線で活動されている講師から学ぶ川崎塾が7月29日から始まりました。来年2月まで毎月1回開かれます。これからの予定は8ページをご覧ください。

Activities File 活動ファイル



兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2018年4月～8月



Activities List

学習会訪問一覧

月日	訪問先	対象	人数
5月26日	ユニセフ入門講座	大人	20
6月11日	有瀬児童館(神戸市)	小学1～6年生	35
6月18日	兵庫県立夢野台高等学校	高校1年生	280
7月10日	神戸大学附属中等教育学校	4年生	3
7月13日	姫路市立増位中学校	中学1～3年生	550
7月13日	人権わくわく学級(宝塚市)	小・中学生	22
7月31日	子育てママサロンASOVIVA(神戸市)	4歳～小学生・大人	20
8月1日	甲緑学童保育コーナー(神戸市)	小学1～5年生	47
8月10日	兵庫県立柏原高等学校	高校2年生	3
8月24日	あさひ児童館(神戸市)	小学1～6年生	67

地域活動一覧

*ブース出展

月日	イベント名	
5月20日	神戸まつり	
6月17日	国際理解講座②	*
6月28日～7月6日	ユニセフ写真展 アグネス大使 シリア周辺国訪問 シリア難民の子どもたちを「失われた世代」にしないために	
6月30日	国際理解講座③	
7月21日	メダカの学校(西宮市)	*
7月27～31日	福島の子ども保養プロジェクト in よしまキャンプ	
7月28日	夏まつり住吉キッズ	*
7月29日	川崎塾①	
8月5日	ユニセフセミナー「水の教室」	
8月7日	コープこうべ平和のつどい2018「地球のステージ」(たつの市)	*
8月17日	コープこうべ平和のつどい2018「地球のステージ」(明石市)	*
8月23～24日	ミニミニ水族館生きものふれあいフェスタ(西宮市)	*
8月25日	川崎塾②	

※ KUトライやる・インターン受入

神戸大学附属中等教育学校・大手前大学

募金していただいた学校・団体(2018年3月～6月)

兵庫県ユニセフ協会を通して募金いただいた学校・団体のお名前を記載しています。(敬称略、順不同)

桜が丘小学校、コープこうべユニオン、段上西小学校、鷹取中学校、(公財)神戸新聞厚生事業団、自由ヶ丘高等学校国際交流サークル、コープこうべ協同学苑、商船三井興産(株)、コープ虹つ子エバラ春休み劇場、伊藤ハム(株)、日本キリスト教団 西神戸教会、ボーイスカウト姫路第16団・18団、大阪なかのしまワイズメンズ、(株)産業経済新聞社、日本ハム(株)スポーツコミュニティ部、潮見小学校、(一財)兵庫県沖縄協会
外貨募金: 商船三井興産(株)、姫路城を守る会

ご協力ありがとうございました。

4 2018 国際理解講座

1 一人ひとりの若者が自分の未来に希望をもてる社会を

講師 今井紀明さん(認定NPO法人D×P理事長)
 日時 4月21日(土)
 会場 コープこうべ生活文化センター
 参加者 28人

D×P(ディーピー)は通信制・定時制高校の高校生に支援を特化したNPOです。

通信制・定時制高校は15年ほど前までは勤労学生が中心でしたが、現在は高校中退経験者や不登校経験者が非常に多くなっています。生徒には、いじめや不登校、お金がない、家に居場所がないなどの生きづらさを抱える子どもたちがいます。先生も学校の先生だけで生徒たちのことを理解するのは難しいことを認識してい



ます。D×Pはここを埋めて、子どもたちの可能性を引き出すために、現在、関西2府2県と札幌市の23校で単位認定された授業の一環として活動しています。

1、2年生では、社会人ボランティアと接することで大人との信頼関係を築けるようにしています。2、3、4年生では、職場体験、アルバイトや正社員の紹介までを授業として行っており、成果は確実に上がってきています。

今井さんは、これから政策提言に取り組もうとしています。高校生の就職は「一人一社制」という慣習的なルールで縛られ、選択肢が狭く、民間の就職支援サービスも高校を卒業してからでないと利用できないのです。「子どもたちは可能性の塊です。若者への支援は未来の社会への投資です」と話されました。

2 出合いがつなぐこどもの未来

講師 ^{とわり}永遠瑠マリールイズさん
 (NPO法人ルワンダの教育を考える会理事長)
 日時 6月17日(日)
 会場 コープデイズ豊岡
 参加者 80人
 共催 NPO法人にほんご豊岡あいうえお

今回初めて豊岡で開催した国際理解講座の講師マリールイズさんは、ルワンダで教師をしていた時に青年海外協力隊の人たちと出会い、カウンターパートナーとして来日。福島で日本語を厳しく教えてくれたおばあちゃんと出会いました。帰国2か月後に起こった内戦に巻き込まれて3人の子どものと難民キャンプへ。そこで日本人

医師と出会い、家族共々再び福島に来ることになりました。日本でのたくさんの経験から、ルワンダに学校を作りたいと強く思うようになり、「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げました。

内戦で傷ついた子どもが学校に行くようになって、先生になりたいという夢を持つようになりました。

マリールイズさんは、「出合いが全て。感謝の毎日です。子どもたちの未来を見届けるために、私にはまだまだやるべきことがたくさんあります」と語りました。



3 映像と写真で見るイスラム国(IS)後、混迷するシリア・イラクの人びとは今

講師 玉本英子さん(アジアプレス所属ジャーナリスト)
 日時 6月30日(土)
 会場 コープこうべ生活文化センター
 参加者 75人



玉本さんは中東地域で20年以上取材をしてきました。

近年のシリアでは、政府の秘密警察等による厳しい情報統制が行われていますが、そこから命懸けで今を伝えてくれる市民記者とい

う貴重な存在があります。2011年反政府運動が始まると、反体制派は首都の中心部に近い東グータ地区に拠点を置いて、病院にも武器を持ち込んだため、政府軍は食糧やインフラ等を制限し、化学兵器の使用も疑われる攻撃をしました。市民記者は2018年2月の政府軍による掃討攻撃の時も、空爆の合間を縫って困窮した市民生活を伝え続けました。IS支配下で恐怖心を植え付けられたラッカ市民の声を伝えてきたのも市民記者グループでした。

イラクでは、北部地域に住む少数宗教ヤズディ教徒がISに攻撃されました。過酷な迫害から必死に逃れた女性は今、ドイツで前向きに生きようとしていますが、全く異なる社会の一員となるのは大変なことです。

戦争で犠牲になるのは多くの一般人。激しい戦闘のニュースが流れなくなるとその地域への関心は薄れがちですが、自分のいる同時代にそこで生きている人のことを知る気持ちを持ち続けてほしいというのが玉本さんの思いでした。

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ干ばつ	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会

*手数料免除

募集中!

ユニセフ
ひょうご
サポーター

ユニセフ
ボランティア

賛助会員として活動を
支えて下さる方を
募集しています。

「できる人が できる
時に できることを」
一緒にしませんか。

Wish vol.56

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2018年(平成30年)9月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605 (平日10:00～16:00)

FAX：078-451-9830

●最新の情報はホームページで

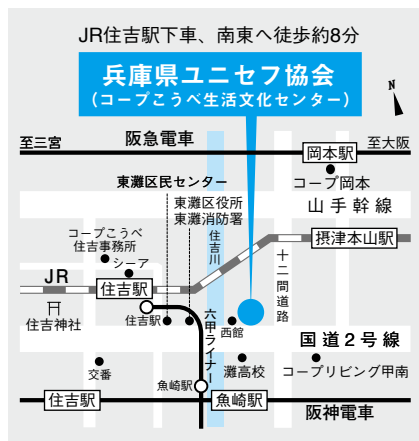
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ

検索



●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

どなたでもご参加いただけます。
詳細はHPをご覧ください。

参加費
無料

2018 国際理解講座④ 地球のステージ特別篇

日時 10月6日(土) 13:00～16:00
第1部 地球のステージ(特別編)公演
第2部 トークセッション
講師 桑山紀彦さん(地球のステージ代表理事)
早川千晶さん(マゴソスクール運営)
会場 コープこうべ生活文化センター



*国際理解講座④は公益信託兵庫県婦人会館
ユネスコ基金の助成を受け行います。

2018 国際理解講座⑤ アフリカに教えてもらったこと

日時 12月8日(土) 13:30～16:00
講師 大津司郎さん(ジャーナリスト)
甲斐信好さん(拓殖大学国際学部教授)
会場 コープこうべ健保会館(神戸市東灘区)



お申込み、お問い合わせ先

事務局 078-435-1605

News お知らせ

ひょうごまるごと健康チャレンジ

日時 9月22日(土)
場所 コープこうべ協同学苑(三木市)
おとなも子どもも楽しめるクイズラリーや子ども
向けお楽しみコーナーもあります。

第40回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金

日時 12月23日(日・祝)
場所 姫路、垂水、元町、三宮、住吉、
西宮北口などを予定

第17回ユニセフのつどい

日時 2019年3月16日(土)
場所 コープこうべ生活文化センター

1979年の国際児童年から行われているユニセフ
ハンド・イン・ハンド募金は、誰もがどこ
でも参加できる募金活動です。今年のテーマ
は「すべての子どもに5歳の誕生日を」です。
皆様のご参加をお待ちしています。

川崎塾

	日時	テーマ・講師	
第1回 終了	7月29日(日)	川崎哲さん ICAN 国際運営委員、当塾長	コープこうべ 生活文化センター
第2回 終了	8月25日(土)	スティープン・リーパーさん 広島平和文化センター前理事長	コープこうべ 生活文化センター
第3回	9月30日(日) 13:30～15:30	藤森俊希さん 日本被団協 事務局次長	コープこうべ 生活文化センター
第4回	10月27日(土) 13:30～15:30	野口香澄さん ピースポート スタッフ	コープこうべ 住吉事務所
第5回	11月17日(土) 13:30～15:30	林田光弘さん ヒバクシャ国際署名キャンペーン リーダー	神戸市外国語大学 (神戸市西区)
第6回	12月15日(土) 13:30～15:30	奥本京子さん 大阪女学院大学 国際・英語学部教授	神戸市外国語大学 (神戸市西区)
第7回	1月14日(月・祝) 13:30～15:30	相原由美さん 歌人 (広島文学資料保全の会・在韓被爆者支援)	兵庫県民会館 (神戸市中央区)
第8回	2月23日(土) 13:30～15:30	川崎哲さん ICAN 国際運営委員、当塾長	神戸栄光教会 (神戸市中央区)

主催 ふらっとピースネットこうべ

協力団体 生活協同組合コープこうべ・(公財)神戸YMCA・(公財)神戸YWCA・賀川記念館・神戸市外国語大学・
神戸栄光教会社会委員会・ピースプラットホーム・兵庫県ユニセフ協会

Booth 出展参加

10月20日(土)～21日(日)	兵庫県ふれあいの祭典(明石公園)
10月27日(土)	姫路市医師会看護専門学校文化祭
11月10日(土)	西宮ふるさとウォーク
11月11日(日)	2018 ユニセフカップ にしのみや甲子園ハーフマラソン